

2010年5月号

宝塚市議会議員

おおしまと き こ
大島淡紅子

■ 議員控え室

●Tel 0797-77-2117
●Fax 0797-74-1810
●E-mail
goiken@tgikai.zaqr.s.jp

■ 事務所

〒665-0816
宝塚市平井1-6-14
●Tel & Fax
0797-89-4090
●HP
http://ayumukai.jp/
●E-mail
o-ayumukai
@hera.eonet.ne.jp

新緑の季節！

今年で4回目の「あとむつこカーニバル ミニたからづか」が大型児童館「フレミラ宝塚」で開催されました。

これは30年前ミニムンヘンで始まった「ミニ・ムンヘン」に習い、仕事の疑似体験をし、子どもたちがまちを運営していくというものです。今、国内では20を越える自治体で開催されています。今回は、危険回避のため



少少林寺拳法は相手との関係が「肝」となります。

子どもたちの 健やかな成長を願って

めに人数制限したものの、2日間で1千600人もの子どもたちが参加しました。この事業は、大人と子どもが対等に話し合い、一年がかりで企画・運営の準備をしていきます。

今、市内の児童館では、小学生から通った子どもたちが成長し、中高生年齢のボランティアとして活躍しています。今度はお世話する側として、育てて来ているのです。

私たち大人が子どもだった頃の「まち」の人間関係は、崩壊してしまいました。しかし、苦心し模索を重ねることで、更に進化した新たな関係も、出来つつあるようです。

この時期、木々の新芽が吹くように



議政云報生口

中川市政の特色を盛り込んだ
予算執行が始まりました！



施政方針は、2010年度という大海に漕ぎ出す航海図。宝塚号の指針に確認と提案の意を込めて。

1 代表質問

「命を大切に」真の市政を宝塚で実現するために

(1) 男女共同参画社会の実現に向けて

Q 女性管理職の積極的な登用を市はどう考えるか

A 現在36名。女性職員の8.2%、管理職の17.9%で、年々増加している

Q 「宝塚市配偶者等からの暴力対策基本計画」策定のスキームは

A 専門家等による策定委員会、関係課

長らによる庁内検討会を設置する

◇昨春の女性部長誕生は、女性職員のモチベーションUPになりました。今春は、部長・室長各1名の女性管理職が更に増え、5年前の8.3%増(11.5%から19.8%)に繋がりました。有能なのに女性という理由で昇格できない事はあってはならず、市にとっても大きな損失です。

◇基本計画については、中間報告を取りまとめた後、パブコメを勘案し、今年度中に策定します。DVはパートナーの女性だけでなく、子どもの育成に影響するので、策定が待たれます。

(2) 宝塚市民の学び・育ちについて

Q スクールソーシャルワーカー(SSW)導入に向けて。市の動きは

A SSWの配置は県に要望し、更に研究もする

Q 市立図書館は生涯学習を支える良好な環境といえるか。また全校配置される学校図書館司書との連携は

A 市立図書館は、ご意見箱設置やアンケート調査を基に環境整備に努める。また学校図書館とは団体貸し出しや学校図書ボランティアの指導

等で連携している。学校図書館は、



社民党議員団を代表して質問。

子ども向けで、地域開放は難しい
Q宝塚市教育振興基本計画の検討委員会での議論、今

後の活用は

A 昨年7月より検討委員会、パブコメ、教育委員会の審議を経て、今年9月に完成

Q 性教育は生命の教育。「生命(いのち)の尊さ講座」の概要は

A 河野美代子医師による講演会を全中学校2・3年生対象に実施

Q 今年度の自校炊飯の取り組みと食育推進計画における学校給食の位置づけは

A モデル校を7校抽出、西谷産米使用を関係機関と協議中。米飯給食は伝統的食生活や日本文化としての稲作の理解等大変意義深いと考える

Q 子どもの虐待に大きな役割を果たす「宝塚市要保護児童対策地域協議会」は機能しているか

A 14の関係機関から成る地域ネットワークの対応には、個別ケース会議

を開催、虐待防止啓発や相談・通告のPRに努めている

教育・子育てに力が入っています。
◇教育と福祉、学校と家庭と行政をコーディネートする、大切なSSWR。大阪府では、兵庫県の「派遣型」でなく、「配置型」で成果を上げています。そこで、市教委内勉強会の開催を再度要望しました。

◇子どもの読書活動は教育振興基本計画検討委員会でも重要視しています。しかし市は不十分。同規模の市と比較しても、宝塚市の図書館数は平均の半分、市民1人当たりの資料費は平均の6割です。この状況での全校司書配置は望ましく、さらに司書には「学習情報センター機能」、教員への「サポート機能」なども求めています。国の緊急雇用事業の補助金で、2校ずつ18人の司書派遣が決定されました。市は運営の方法や充実した研修を根拠に、その派遣を民間委託しました。しかし市の直営でなければ、司書に直接指示できない等、無理な面もあり、なお且つ、コスト高にも繋がります。

◇やっとなごぎつけた地場産米給食。しかしまだ問題が



山積です。(製パン業者、西谷の生産者への説得、学校の設備改修や栄養士や調理員との協議など。) 学校給食は食育の柱。子どもたちの健康・食育・食文化の継承のために、頑張りましょう。

◇他に、「行財政改革」「地域コミュニティの防災力強化」「消費者行政の活性化」「地産地消と農業振興」「環境保全」「行政組織の活性化」「チームたからづか・チームこれからだ」「入札制度見直し」「審議会委員の市民公募」について、質問しました。

2 主な議案・請願・陳情・意見書・決議の審議

・平成22年度宝塚市一般会計予算↓可決(賛成多数)

… 税込減少、生活保護・医療助成費増だが、こういう時こそ既存予算を見直し、住みやすいまちへの予算配分に
[反]多田(危険分子養成の朝鮮学校への補助金増額を含むとの理由)

・平成22年度宝塚市特別会計後期高齢者医療事業費予算↓可決(賛成多数)

… 度重なる制度変更は、財政的な負担や制度手続き面の負担が、予想され

る。高齢者医療制度を確立させることを、更に政府に訴え、新制度移行までの間、現行負担軽減措置の継続を要望する賛成討論をした [反] 共

宝塚市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について↓可決(賛成多数)

… 在職2年以上の常勤職員を対象に、3年を上限とし、国際貢献活動や大学修学等のための無給休業を許可 [反] 伊福・小山・寺本

宝塚市一般事務手数料条例の制定について 外手数料条例↓可決(賛成多数)

… 住民基本台帳カードの交付に関して。来年3月31日まで、現在500円の手数料を徴収しないという案。国家による個人情報管理の危険性等、市民の不安が払拭しきれていない。また期間終了後、市が一般財源を投入するのか。手数料無料か、あるいは復活か。未定という曖昧さから、反対討論をした [反] 社民

宝塚市立手塚治虫記念館条例の一部を改正する条例の制定について↓可決(賛成多数)

… 団体割引の対象を30人から10人に減らし、入場料を400円から500



インテリア・照明にこだわる村野藤吾氏設計の
市役所市民ホール

で運用する消防本部のシステム。入札では87.57%の落札率で日本電気が買取り。

0円に値上げ。また一般大人は500円から700円に。値上げ理由は開館時の入館者20.9万人が半分以上の10万人に減ったこと。同入場料の「水木しげる記念館」は29.6万人、「石ノ森章太郎ふるさと記念館」が17万人だった。「手塚」の入場者減によって、市負担も膨らむ。(1千274万から4千453万に増。「手塚」の入場利益3千590万円に対し、経費は1.1億円(直営)。「水木」は1.3億円に対し、6千万円(指定管理)。「手塚」は文化か、観光か。市の方向が不透明。運営や企画には市民不在で、値上げするのは反対 □ 反社民・共・公

・財産(高機能消防指令センター機器(3型)一式)の取得について↓可決(賛成多数)

…来年から宝塚・川西・猪名川の広域

しかし、全国の殆どが同社で、落札率100%の自治体もある。談合の疑惑アリで反対 □ 反社民・共・公

・平成22年度宝塚市一般会計補正予算(第1号) ↓可決(賛成多数)

…緊急雇用就業機会創出基金補助金を活用し、高齢者等生活困難者支援コーディネート設置事業・中核市・特例市グリーンニューデール基金補助金を活用し、(仮)グリーンニューデール基金を財源に、身体障害者支援センター管理運営事業、街路灯管理事業を増額 □ 反多田 (財政的理由) □ □

・別居・離婚後の親子の面会交流に関する法整備と支援を求める請願 ↓趣旨採択(全員一致)

…多数の海外の国では共同親権を採っているが、日本は単独親権。離婚と関係が深いDVに、どう対処するか。親子・夫婦の不利益が多くあり、簡単に法整備が進まない。 □ □

・非核三原則の法制化を求める決議および意見書提出に関する請願 ↓採択(賛成多数)

…宝塚市原爆被害者の会提出。これを受けて決議・意見書提出 □ 反伊福・多田・近石・浜崎・山本(中国・共

和国等を含む核廃絶が前提の理由) □ □

・「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書 ↓可決(全員一致)

…何故か異議なし可決 □ □

・非核三原則の法制化を求める決議 ↓可決(賛成多数)

…反多田・浜崎・山本 □ □

・子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願 ↓一部採択(項目3、4、5のみ全員一致)

…「教育予算の大幅増額・30人学級の早期実現への意見書提出」は削られ、「特別支援教育条件整備・栄養職員全校配置・トイレ改善」のみ □ □

・後期高齢者医療制度をただちに廃止することを求める意見書提出を求める請願 ↓審議未了 □ □

・介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書 ↓可決(賛成多数)

…反多田(財政的理由) □ □

・保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書 ↓可決(全員一致)

…「民法改正」「六ヶ所再処理工場・もんじゅ運転再開・プルサーマル計

画の中止」の社民党意見書案は消されたので、唯一提出。内容は削られたが、財源確保と規制緩和による保育の質の低下を防ぐ、最低基準の堅持は明記



3 議会改革特別委員会

3月24日と26日に全体会を開き、部会毎に「議会基本条例の調査」「議員同士の討議・地方議会が条例で定めることが出来る事件」「資産公開と政治倫理見直し」について、1年間の活動報告をしました。

私は部会長として、先進事例報告と問題点や宝塚の現状などについて発表し、全体会で基本条例の制定の賛否について諮るよう提案しました。

結果、制定の方向で進み、全議員が理事者を交えず、自由に討議したことは非常に画期的でした。これが私たちの目指す議会改革の柱の一つであり、様々な意見を修正しながら合意を持ち込む民主主義の基本と考えます。

『開かれた議会』として、他市からの視察も度々有る程、真摯に取り組んできたと自負しています。市民の皆さんにご理解頂くためにも、引き続き条例化に向けて、議論していきます。



宝塚でいきいきと活動する「いきいき彩人」。前回の「GENKI たからばこの会」の中川慶子さんからご紹介の、「チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西」の田中章子さんです。

「チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西」は、は原爆被爆国である上に国内に多くの原発を有する日本の住民として、チェルノブイリ原発事故の警鐘をしっかりと受け止め、繰り返さないで「チェルノブイリ！」を合言葉に救援交流を続けている市民グループです。

1986年4月に起きたチェルノブイリ

素晴らしい出会いから

また現地からも救援活動の中心になっていく方が増えて、日本各地で講演会を開き被曝の現状を語っていただいています。

ベラルーシに救援物資を届けたら、オリツルやキルトを贈ったり、文通をしたりしていますが、何よりも顔の見えるお付き合いを大事にして、毎年スタッフが現地を訪れています。私も2004年ベラルーシを訪ね、被災地見学や多くの方々と交流することができました。

「チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西」

話・田中章子さん

「原発の危険性を考える宝塚の会」も救援活動に連帯して、脱原発運動とともにチェルノブイリ関連の学習会や救援バザーを行っています。7月10日宝塚男女共同参画センターの「エル・フェスタ」にフリーマーケットを出店します。救援にご協力を！たくさんの方のご来場をお待ちしています。

初めての講演会で小児科医ペーラさんのお話を伺ったことが忘れられません。困難な状況に毅然として立ち向かい、病気の子ども達を護るため尽力し、なおかつ謙虚なお人柄で周りの者を優しい気持ちにさせるペーラさんの印象が、その後の私の活動の原動力となりました。「この素晴らしい人との出会いを大切にしよう」と思い、「チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西」のスタッフになったのです。

早苗田の会

杉山鮎水 選

- 三月
- ◇ (特選) 春風の線路伝ひに來たりけり
 - ◇ 芽吹かむと力ためをり雑木山
 - ◇ 雛の敷かぞへるる娘の巢立ちかな
- 四月
- ◇ (特選) 日帰りの旅や身軽に鳥帰る
 - ◇ 牡丹の芽熱き血潮の流るごと
 - ◇ つちふるや遠くの山々墨ばかし
- 五月
- ◇ (特選) 慶びをそつと包んで柏餅
 - ◇ タンポポや風の天使と遠き旅
 - ◇ 藤棚にむらさき重き真昼かな

朝子 峯子
 惠之輔 綾子
 比登美 朝子
 信義 綾子
 比登美



「たからばこ おでかけマップ」

事務所にもあります！

子育て世代にウレシイ地図。情報満載の『たからばこ おでかけマップ』は携帯に便利なA5判。未就園児のママ

子育て世代にウレシイ地図。情報満載の『たからばこ おでかけマップ』は携帯に便利なA5判。未就園児のママ



強い味方。便利な情報が無料で入手でき、赤ちゃんも助かるかも。私も20年前、お金もかけずに、子どもと出かけられる場所を、必死で探したつけ…

と きん 淡 紅 の 声

黄金週間に核不拡散条約(NPT)再検討会議が始まった。米・イランの激しい非難が空しい。しかし、5年後の次回は来られないかもと、高齢の身に鞭打って参加されたヒバクシャが語る重い現実が、NYの人々の心を打つ／首相の沖縄訪問。「負担のお願い」をする先は国民か米国か。「抑止力」というが、攻撃の矛先は米国を向いているのに。小さな日本に原発54基、更に14基増やすとは、核開発いづでもOK。隣国にとっては、脅威ではない。／学生時代の友人が、仲間たちと主宰するギャラリーを訪問。30年経ち、地域に根を張っている姿が輝いていた。京の山並みやまちに歴史を感じた一日

